

「新川崎・創造のもり 産学交流・研究開発施設」の愛称を 「AIRBIC（エアビック）」に決定しました！

本市の産学連携による新産業の創出拠点「新川崎・創造のもり（幸区新川崎7）」に整備を進めている「産学交流・研究開発施設」の愛称を次のとおり決定しました。



最先端の研究開発と創業の支援を行う施設を意味する「AIRBIC」は、オープンイノベーションが進展する雰囲気がいっぱいあふれる場となることを期待し決定したものです。

○産学交流・研究開発施設「AIRBIC」の整備スケジュール

	H29			H30				H31
	4～6	7～9	9～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3
建設工事	建設工事							供用開始
入居者募集	大和ハウス工業(株)運営部分				川崎市運営部分			

○かわさき新産業創造センター既存施設の愛称

KBIC	ケービック	<u>K</u> awasaki <u>B</u> usiness <u>I</u> ncubation <u>C</u> enter
NANOBIK	ナノビック	Global <u>N</u> ano <u>M</u> icro <u>T</u> echnology <u>B</u> usiness <u>I</u> ncubation <u>C</u> enter

※KBIC はベンチャー企業向け入居スペースを主とするインキュベーション施設

※NANOBIK はナノ・マイクロ分野における産学官共同研究施設

次世代産業推進室
ベンチャー産業創出担当 対馬、野本
電話：044-200-3712
メール：28ziseda@city.kawasaki.jp

新川崎・創造のもり事業の概要

新川崎・創造のもり(幸区新川崎7)では、産学官の連携による新しい科学・技術や産業を創造する研究開発拠点の形成と、次世代を担う子どもたちが科学・技術への夢を育む場づくりを目指し、段階的な施設整備を推進しており、このたび整備する産学交流・研究開発施設「AIRBIC」は、「新川崎・創造のもり」事業の集大成となる本市のオープンイノベーション拠点施設になります。

【新川崎・創造のもり地区 配置図】



K² (ケイスクエア) タウンキャンパス (平成12年7月開設)

慶應義塾大学の先導的研究施設で、最先端の研究開発を実施
14研究プロジェクト、2教育プログラムが入居



かわさき新産業創造センター「KBIC」(ケービック・平成15年1月開設)

ベンチャー企業の入居スペースと専門家による支援メニューを提供するインキュベーション施設
22社、4研究室等が入居



ナノ・マイクロ産学官共同研究施設「NANOBIC」(ナノビック・平成24年4月開設)

ナノ・マイクロ技術分野の最先端の研究開発から製品化まで行うことが可能な、人材、技術、最先端の研究機器等を集積させた高度なファブリケーション施設。ナノテク関連企業等5社が入居

【産学交流・研究開発施設「AIRBIC」の概要】

鉄骨造、地下1階・地上5階建(地下1階は駐車場)
建築面積 約5,300㎡、延床面積 約27,000㎡、高さ 約27m



1階 オープンエリア

会議室、交流スペース、
飲食・物販スペース、オフィス・ラボ(大和ハウス工業(株)運営 1,200㎡) など



2階 インキュベーションエリア

川崎市運営
2階約3,500㎡



3~5階 イノベーションエリア

大和ハウス工業(株)運営
3階約3,700㎡、4階約3,000㎡、5階約3,000㎡

